

丹波市社会福祉協議会は誰もが安心して暮らし続けられる地域を目指して、地域住民や行政、福祉関係者と協働して、福祉のまちづくりを進めている団体です。

南部支所通信では柏原地域と山南地域の福祉活動を月に1回広報紙として発行します。いきいきと輝く姿を中心に誰かに話したくなる情報をお届けしますので、ぜひご覧ください。

アイデア一つで みんなワイワイ楽しい！

ふれあいサロンや子供会活動等で行うレクリエーション選別に苦労することはありませんか。

先日取材に伺った上滝ふれあいサロンでは、うちわを使って隣の人へ物を届ける、“うちわりレー”をされていました。風船やバルーンアート、ぬいぐるみと重さや形を変えながらチーム対抗で歓声があがるほどの白熱した戦いでした。安価で買える身近なものでも工夫次第で身体の状態に関係なく誰でも楽しめるレクリエーションになりますね♪



【形が変わると感覚も変わって難しい・・・】



【慎重にそーっと隣の方へ届けます】

その他に社協では輪投げやボッチャなど用具の貸出やゲームも交えた“ふくし”のお話、マジックや歌など自身の得意なことをボランティアとして披露されているレクリエーション講師の紹介等も行っていますので、内容でお困りの方はお気軽にご相談ください。

これからの上久下地区を考える わくわく座談会

民生委員児童委員や民生・協力委員、福祉委員を中心とした座談会を開催し、地区の現状を話し合う中で長所や弱みを見つめ直すことができました。今後も座談会を継続開催し、地域情報を収集しながら地域の力でまちづくりを進めていきます。【座談会の様子は別の広報紙等で詳しく発信する予定です。】



ふくしの心を育む地域の力

社協では小中学校からの福祉学習依頼に対して、講座を受講した福祉学習サポーターと共に対応しています。

サポーターには社協職員だけでは目が行き届かない部分の見守りや児童自身が“気づき、感じる”ための声掛けをお願いしています。

サポーター以外にも手話体験や点訳体験など福祉体験学習にご協力いただけるボランティアさんもいらっしゃいます。社協では、体験学習の内容相談や講師の派遣調整に対応していますので、学校関係者の皆様、お気軽にご相談ください。



【体験学習の前に注意事項を説明します】

より利用しやすくなりました。

柏原福祉センターの貸館業務が令和7年4月1日より再開しています。利用料や予約状況の詳細は社協南部支所（72-1236）までご連絡ください。

また山南福祉センターで利用停止しておりましたミニデイルームについても修繕が完了しましたので、ご利用いただけるようになりました。



【左】柏原福祉センター 調理室

【下】山南福祉センター ミニデイルーム



4月から新体制で業務対応を行っています。

【*名前 *ひとこと（趣味、頑張りたいこと）】

- 支所長 中西 由美 “バレーボール🏐観るのもするのも大好き！2年目頑張ります!!”
- 主 査 山内 敬太 “読んで楽しい広報紙を目指して毎月、支所通信を作成します”
- 主 事 永井 貴恵 “料理上手になりたいです！おすすめレシピ教えてください♪”
- 事 務 川口 京子 “韓ドラ観るのが好きです！南部支所2年目頑張ります!!”
- 事 務 後藤 志保 “犬猫動画を見ること。犬好きです🐶運動不足なのでストレッチ”

職員全員で協力しながら、

柏原・山南地域を担当します。